

佐久大学は、佐久市との地域包括連携協定の中で3年間のJICA 草の根技術協力
(地域活性化特別枠) を実施中です。

全体の期間：平成28年(2016年)1月～平成30年(2018年)12月

プロジェクト名：タイ、チョンブリ県における町ぐるみ高齢者ケア・包括プロジェクト
ーサンスク町をパイロット地域としてー

プロジェクトの目標：タイ、チョンブリ県、サンスク町における高齢者を対象とする地域包括
ケアネットワークが構築され、介護、看護の人材が育成される。

プロジェクトの活動により期待される5つのアウトプット

1. サンスク町高齢者ケア強化方針の下、「高齢者保健医療・介護推進委員会」が設置される。
 2. 既存の「地域保健委員会」が体系的に活動できるように再構築される。
 3. 在宅ケアを推進するためのシステムづくり、及び活動を実施する。
 4. 既存のお寺単位の介護予防活動が人々の健康状態にあったプログラムに改編され
高齢者が支え、支え合う活動を基本にきめ細かなプログラムが実施される。
 5. 佐久市で研修を受け、帰国した人たちが地域のキーパーソンとなり、活動の継続と
発展に寄与する。(以下の5-6)の活動によりヘルスフェスティバル、及びセミナーを実施)
- 5-6) 住民の健康増進意識を高めるため、ヘルスフェスティバルを開催する

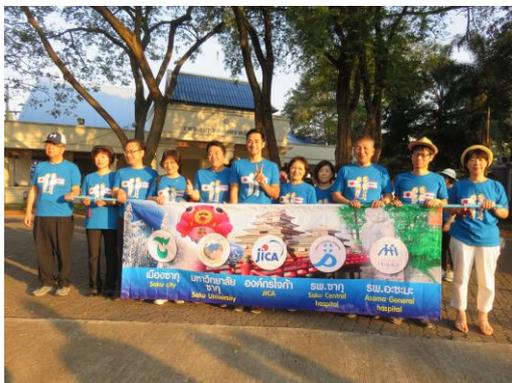
(モデルとなったのは、佐久総合病院祭・ぞっこんさく市 です：入場者数：約1500人)

日時：2018年1月19日(金) 9:00-16:00 於サンスク町、ブラパ大学病院内・外(特設会場)

スローガン：Health For All [「全ての人に健康を」]

2部構成で実施されました：1. 早朝パレード(サンスク町市役所⇒ブラパ大学病院前)

2. 病院内(1階～5階)の展示および病院外、33のブース



朝7:30 サンスク町市役所を出発する佐久チームの行進



Area 1:住民が健康な高齢者をアピール、向かって左端がサンスク町町長、プラカード右は堀内学長



Area 2: デング熱など環境衛生の改善をアピール



Area 3: 住民は、たばこ及び薬物を止めよう! アピール



ブラパ大学学長
看護学部ブースを見学
車椅子を体験中



開会式 佐久大学
堀内学長挨拶



開会式 佐久市長挨拶



JICA タイ事務所、在タイ日本
大使館から来賓を迎えて開会式



ユニフォーム
試着ブース



佐久市のブースも盛況でした
シナノポール



“佐久メディカルチームの血糖値測定”



ナロンハイ町長、ヘルス・ヘルス・プロ
モーションのブースを見学の様子



院内の各種の展示物

ヘルスセミナー：2018年1月20日(土) 9:00-12:30

講演者：佐久市立国保浅間総合病院 糖尿病センター仲センター長
佐久市立国保浅間総合病院 菊原看護部長
佐久大学 堀内学長



演題：東アジアにお
ける糖尿病の動向



演題：糖尿病患者への
生活上のアドバイス



演題：日本における
認知症ケア



参加者は、保健医療職、看護学生ら約200人



ふるさとの民族衣装でレセプションを盛り上げてくれたヘルプボランティアたち



地方自治体国際化協会の海外研修参加者25名が日本から訪問、フェスティバルを見学され、情報交換の時間を持ちました